

『土屋原』

土屋原地区内を横断する伊勢本街道は伊勢湾台風で壊滅的な被害を受け、桜峠まで国道369号線として全面改修されました。

土屋原バス停留所の北に旧村社春日神社が氏神として祭られています。神明造りの本殿には天児屋根命他三神が祭られ、延徳三年の銅製の神像と木造三体・神鏡一面が保存され、境内には珍しいラッパイチョウの巨樹があります。



春日神社

本殿は素木の神明造で天津児屋根命が祀られる。境内には県の保護樹木に指定された高さ20mの大イチョウがあり、葉の先がラッパのように巻いているので、ラッパイチョウと呼ばれる。



春日神社

土屋原(つちやはら)

■土屋原は古代伊勢神宮領でした。■中心的な集落は中村で、その南東の堂前三差路を形成しています。■南には講取峠を経て、伊勢の飯南部飯高町の加波多に通じる加波多道があります。■東隣の菅野村との境にある桜峠の手前の笹がから北へホッキョ川沿いホッキョ峠を経て塩井村にいたる塩井道が通っています。

菅野(すがの)

■菅野は古代伊勢神宮領であったと考えられています。■南に中野・上郷などの菅野の垣内を経て白髪峠を越え、伊勢の藩田川沿いの街道にでる道が通じ、北には亀山と後古光山のほぼ中間にある長尾峠を越え太良路にいたる道が通じています。■中世、馬を用いて参宮した場合、いくつかの関所をたどりながら初瀬からほぼ1日の行程であったとされ、旅籠がありました。



安能寺

開山は古く弘仁年間に弘法大師の建立と伝えられ、室生寺の別院であったと言われる。上部が鐘楼を兼ねた山門は県の文化財に指定。



安能寺山門

・上り下り合わせて約700m
・ほとんど勾配がない緩やかな峠
・全区間未舗装山道

・国道の北側に旧道がある

・分岐に注意



御杖小学校



堂前の道標と案内標識

・「左いせ」
「右はせ」との刻銘あり



伊勢街道の道標

『菅野』

御杖村の主邑です。宮川のほとりに鎮まる四社神社の境内には倭姫命の御手洗井と伝えられる井戸と酢壺の旧跡という珍しい遺跡が残されています。これは斎王・酢香手姫命が当地に來られたとき、酢の泉を見つけられたのでこの場所を酢壺田(スツボタ)と称しており、そのとき身も心も清々しくなったといわれたのが「菅野」と称せられる地名の発端になったと言われています。



菅野の道標

・「右いせ」との刻銘あり



道標

・「伊勢本街道」との刻銘あり



牛峠への道

・上り約1km、下り約700m
・峠頂上手前にやや急な坂あり
・車道舗装路



・「左いせみち」
「右はせみち」との刻銘あり



四社神社

神殿は神明造四間社で、四社大明神とも称して、伊邪那美命、大日靈貴尊、天津児屋根命、菅田別尊が祀られている。



四社神社